

2021年
4-9月期

県内景況・確報

◎概況

県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

●2021年4-9月期 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



やや悪い

建設関連



ふつう

観光関連



悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

2021年4-9月期の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を下回りました。百貨店売上高は催事開催等により、前年同期を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同期を下回り、新車販売台数も、前年同期を下回りました。

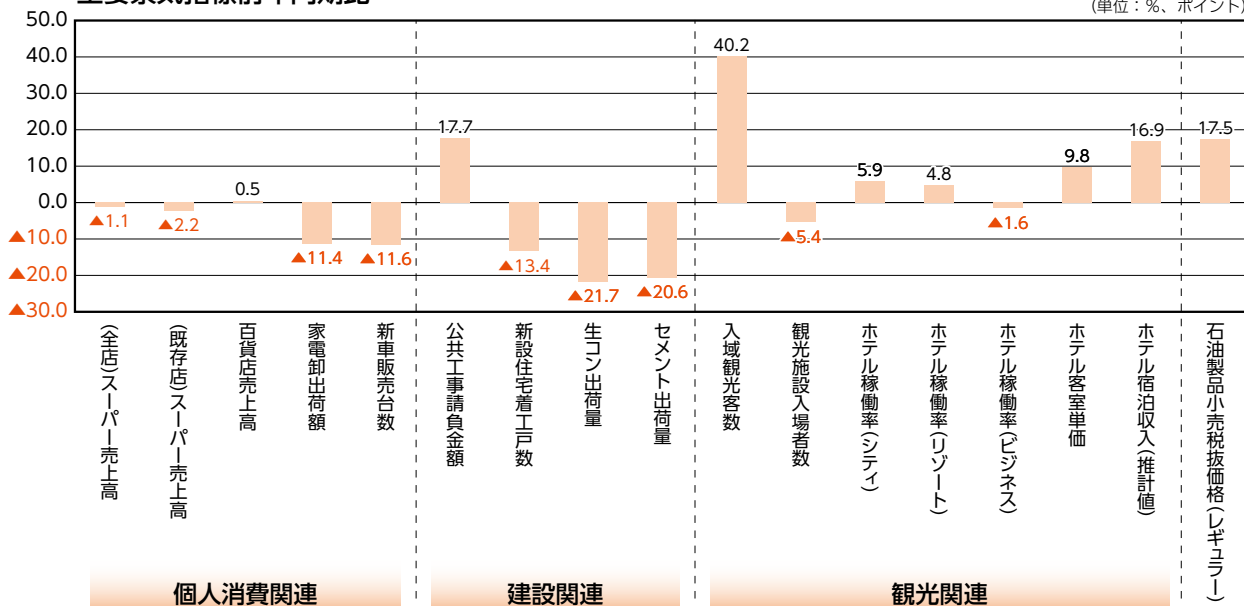
建設関連では、公共工事請負金額は国や独立行政法人等、その他公共的団体において増加したことから前年同期を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同期を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は、前年同期を上回りました。観光施設入場者数は、緊急事態宣言の影響などにより、前年同期を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテルが前年同期を上回り、ビジネスホテルが前年同期を下回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）は前年同期を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費、建設関連は弱さがみられ、観光関連では依然として厳しい状況にあることなどから、**「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。」**と景気判断をしました。

主要景気指標前年同期比

(単位：％、ポイント)





個人消費



(やや悪い)

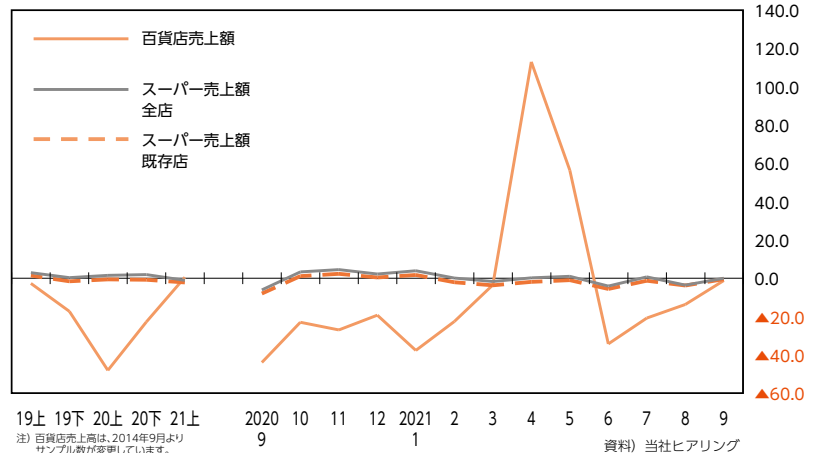
① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースは前年同期、既存店ベースともに前年同期を下回る。百貨店売上高は前年同期を上回る。

2021年4-9月期の個人消費関連
 は、スーパー売上高が「全店ベース（前年同期比1.1%減）」は、前年同期を下回りました。品目別では、「衣料品（同11.8%減）」や、家電を含む「家庭用品（同3.0%減）」は、緊急事態宣言による外出自粛などにより、前年同期を下回りました。一方、ウエイトの高い「食料品（同0.1%増）」は、新規出店効果や、巣ごもり需要が続いたことなどにより、前年同期を上回りました。

「既存店ベース（同2.2%減）」は、前年同期を下回りました。品目別では、「衣料品（同8.5%減）」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛や不要不急の買い物を控える動きが見られ、前年同期を下回りました。「家庭用品（同5.9%減）」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、衛生用品は伸びたものの、家電は世界的な半導体不足もあり在庫不足が発生したことから前年同期を下回りました。ウエイトの高い「食料品（同1.2%減）」も、緊急事態宣言の発出による外出自粛や内食需要が落ち着きを見せ、前年同期を下回りました。

百貨店売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による休日の休業要請があったものの4月の感染者減少のタイミングに来店客数が増加したことや催事開催により前年同期を上回りました。（同0.5%増）。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品（同5.3%減）」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛や店舗の休業などから、「紳士服（同0.7%減）」、「子供服（同31.4%減）」など伸びず、前年同期を下回りました。「雑貨（同22.1%減）」、「身の回り品（同3.7%減）」も同様に外出自粛や休業により前年同期を下回りました。また、「食料品（同21.7%増）」は、2年ぶりの催事開催と同開催に伴う買い周りや、昨年大幅に減少した反動により、前年同期を上回りました。

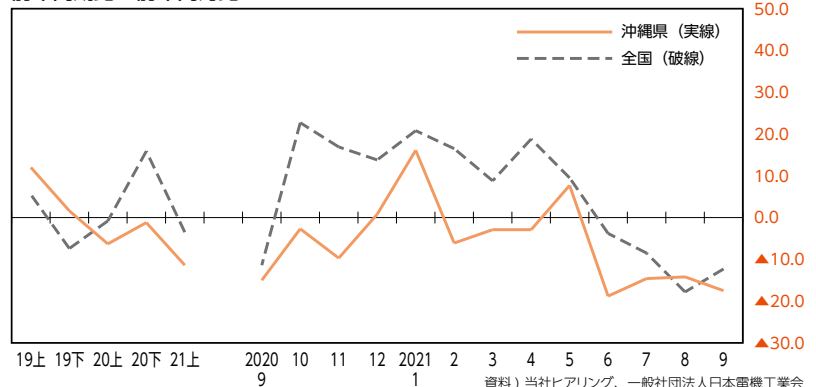
前年同期比、前年同月比



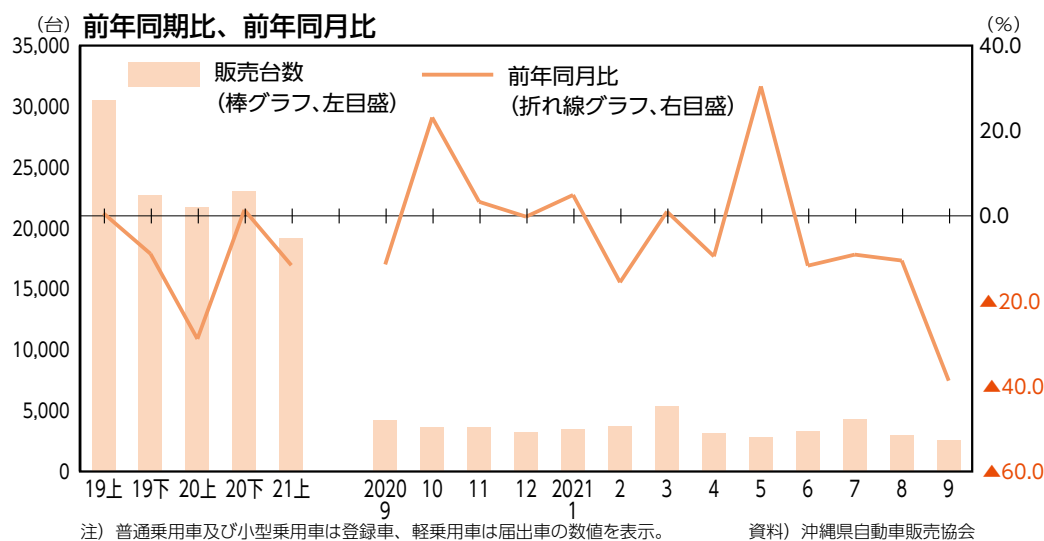
② 家電卸出荷額…製造工場のロックダウンや半導体不足により、前年同期を下回る。

家電卸出荷額は、製造工場のロックダウンや半導体不足、前年の給付金による需要増加の反動により、前年同期を下回りました（同11.4%減）。品目別では、「冷蔵庫（同15.7%減）」、「エアコン（同19.8%減）」は、前年同期を下回りました。一方、「テレビ（同9.3%増）」は、オリンピック・パラリンピック開催に伴う需要の増加などにより、前年同期を上回りました。

前年同期比、前年同月比



③ 新車販売台数…ロックダウンや半導体不足により出荷が減少、前年同期を下回る。



新車販売台数は、全体で19,159台（同11.6%減）となり、前年同期を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同2.9%減）」、「小型乗用車（同29.8%減）」、「軽乗用車（同5.8%減）」は、メーカーが製造拠点を置く東南アジアの工場での新型コロナウイルスの影響によるロックダウンがあったことや、世界的な半導体不足によるサプライチェーンの障害により出荷が減少し、前年同期を下回りました。

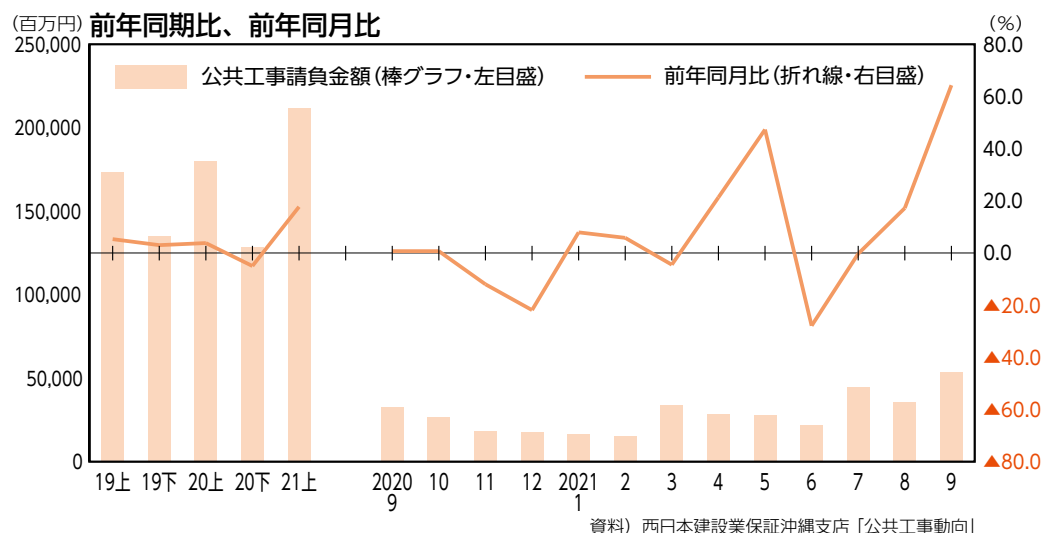
※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

建設関連



(ふつう)

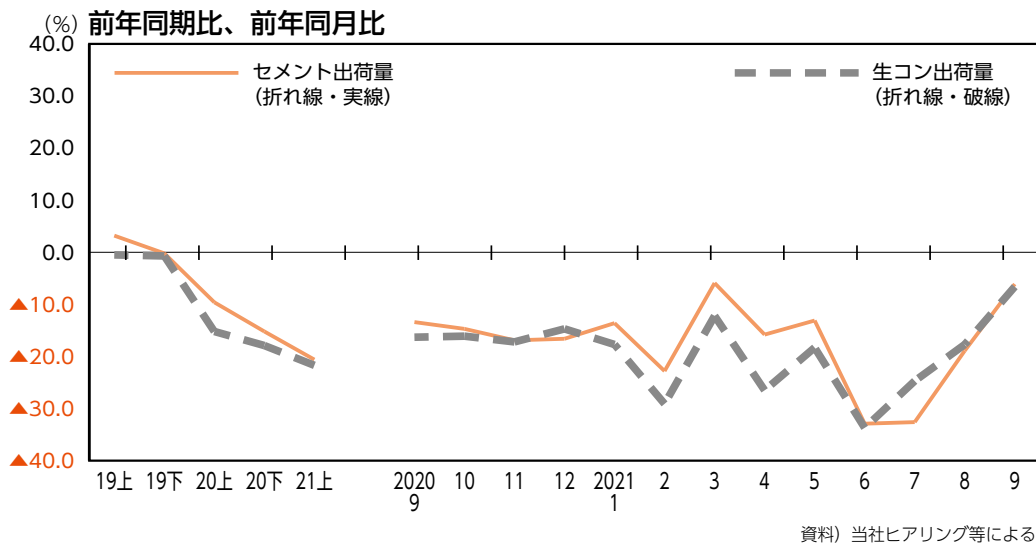
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を上回る。



2021年4－9月期の公共工事請負金額は、前年同期比17.7%増の2,118億3,300万円となりました。発注者別でみると、「国（同48.9%増）」や「独立行政法人等（同188.6%増）」、「その他の公共的団体（同29.9%増）」は前年同期を上回りました。一方、「市町村（同6.5%減）」や「沖縄県（同1.7%減）」は前年同期を下回りました。

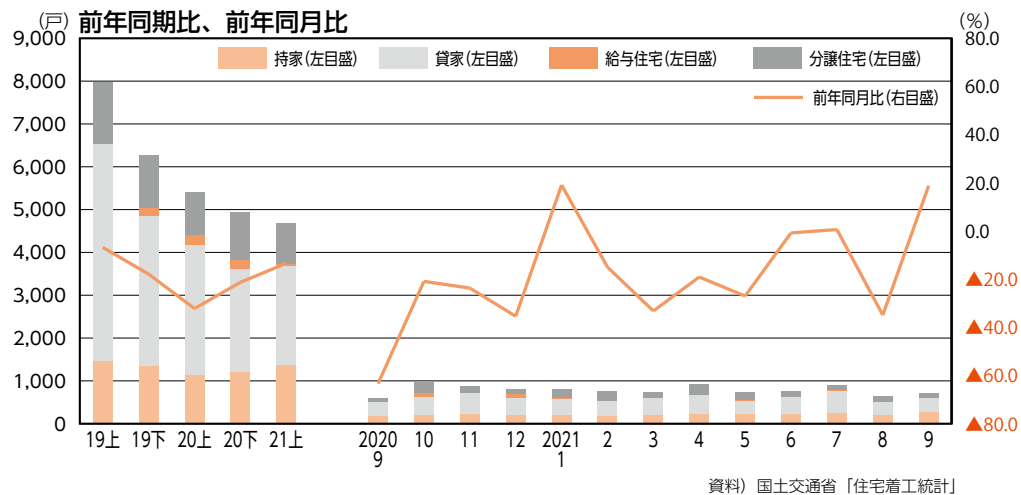


② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同期を下回る。



建設資材関連では、**生コン**の出荷量は21.7%減と前年同期を下回りました。内訳では、公共工事向けは前年同期より24.1%下回り、民間工事向けは20.6%下回りました。**セメント**出荷量は20.6%減と前年同期を下回りました。

③ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を下回る。



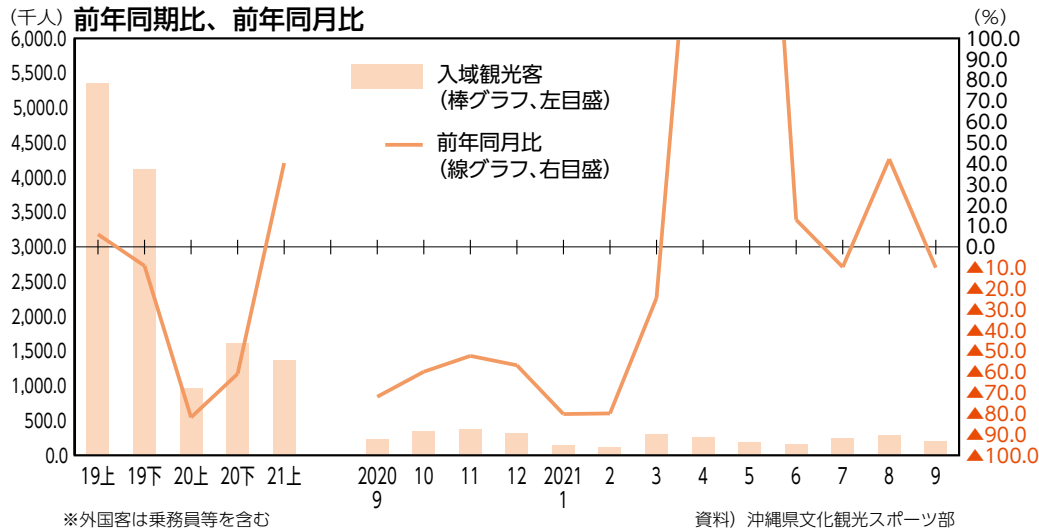
新設住宅着工戸数は、全体で4,678戸となり13.4%減と前年同期を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家 (同23.6%減)」のほか、「給与住宅 (同87.2%減)」や「分譲住宅 (同4.4%減)」は前年同期を下回りました。一方、「持家 (同21.0%増)」は前年同期を上回りました。

観光関連

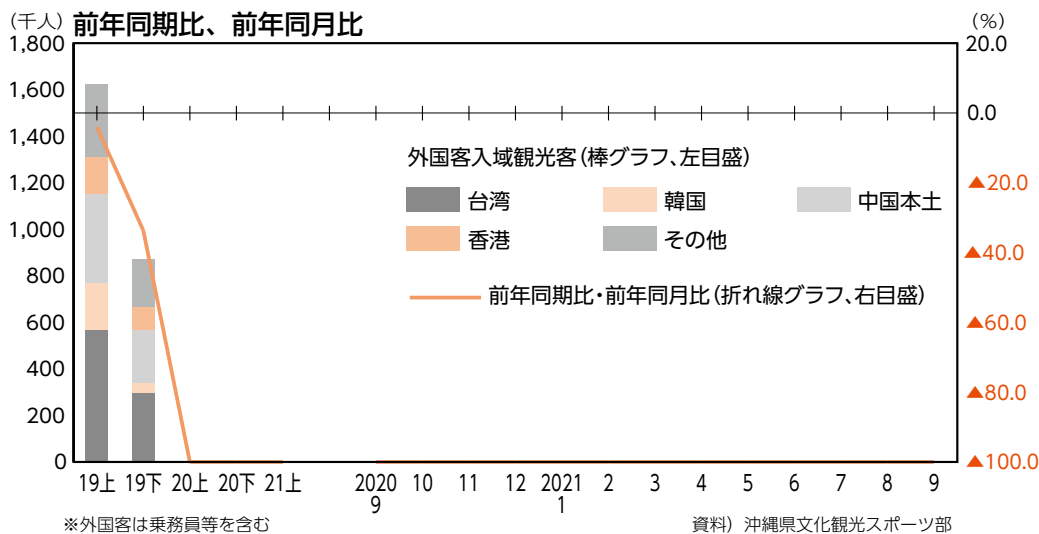


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同期を上回る。



外国客 入域観光客数…前年同期同様、皆減。



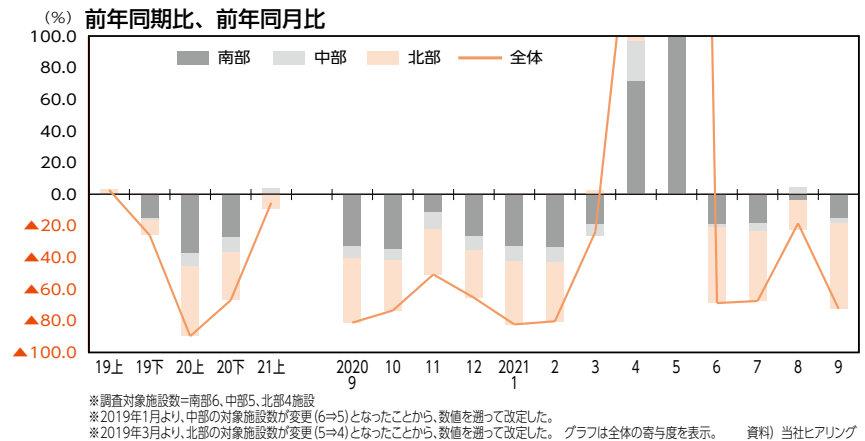
2021年4－9月期の入域観光客数は136万4,200人となり、前年同期を上回りました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点より、4月12日からまん延防止等重点措置、5月23日から9月末にかけて国・県の緊急事態宣言が発出されたものの、前年同期を上回りました。

「外国客(同100.0%減)」においては台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置、海外航空便の運休・減便などから前年同期同様、皆減となりました。



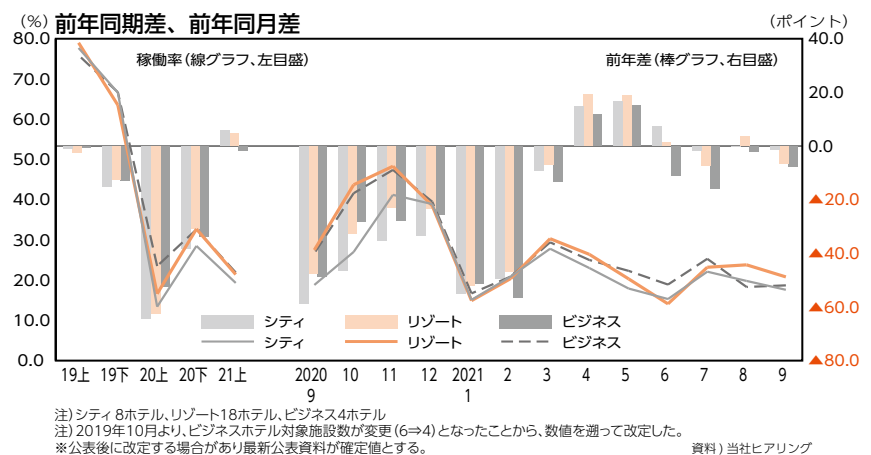
② 観光施設入場者数…前年同期を下回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同期より△5.4%減少しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同0.5%増、中部は同3.5%増となるものの、北部は同9.4%減と前年同期を下回りました。



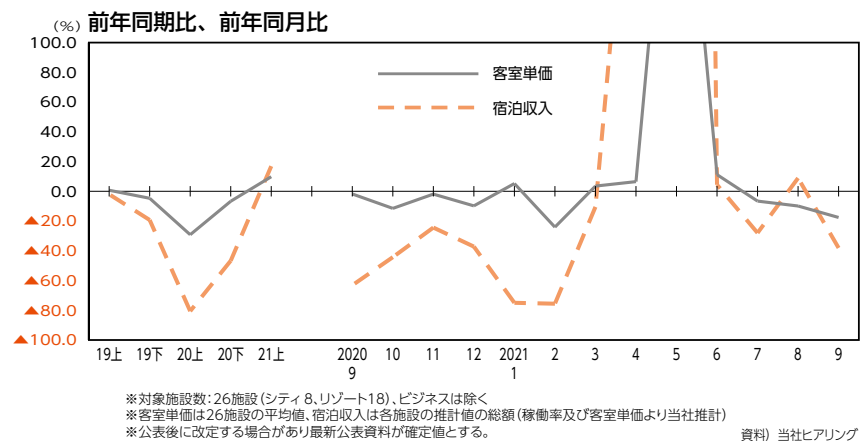
③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテルは前年同期を上回り、ビジネスホテルは下回る。

2021年4-9月期の県内ホテル稼働率は、シティホテルが19.3%と前年同期差5.9ポイント上昇、リゾートホテルが21.4%と同4.8ポイント上昇、ビジネスホテルは21.9%と同1.6ポイント低下しました。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価、宿泊収入ともに前年同期を上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同期比9.8%増と前年同期を上回りました。**宿泊収入**も同16.9%増と前年同期を上回りました。





企業倒産

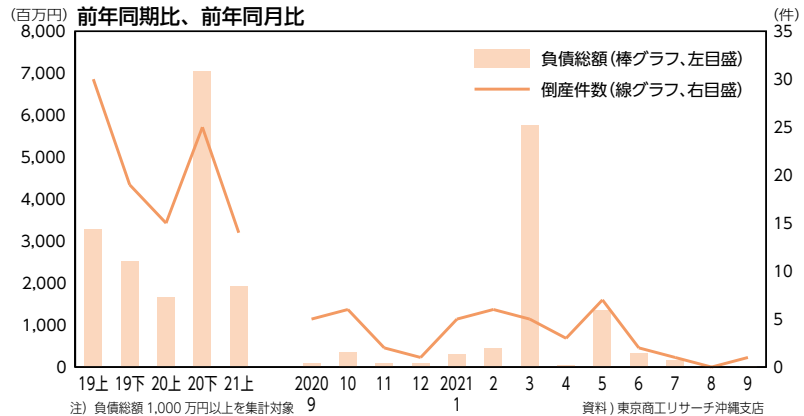


(やや良い)

企業倒産…件数は前年同期を下回り、負債総額は上回る。

2021年4－9月期の企業倒産件数

は、14件（うち負債総額1億円以上10億円未満の大口倒産は7件）となり、前年同期より6.7%下回りました。負債総額は19億1,300万円となり、前年同期より16.1%上回りました。



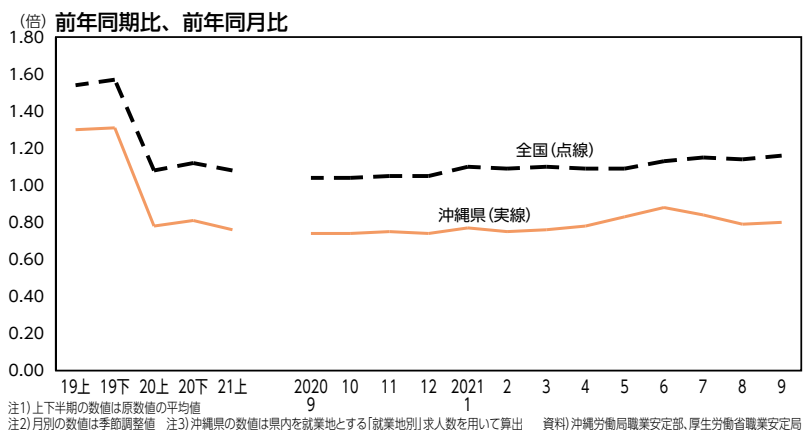
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄は前年同期より低下、全国は同水準。

2021年4－9月期の雇用状況は、有効求人数（原数値平均）は前年同期比4.7%増の23,179人に対して、有効求職者数（同上）は前年同期比7.5%増の30,491人となり、有効求人倍率（同上）は0.76倍と、前年同期より0.02ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄は前年同期より上昇、全国は同水準。

完全失業率(原数値平均)は、3.8%となり前年同期より0.3ポイント上昇しました。

